Information

インフォメーション

検査№.2023－35
２０２４年２月

検査内容変更のお知らせ

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目におきまして、定期的な見直しに伴い、検査受託内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。
誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変　更　項　目

●シアリル Tn 抗原（STN）

●ジアゼパム

●ピルメノール

●薬剤によるリンパ球刺激試験（DLST）

●染色体 G―Banding

●フィブリン・フィブリノゲン分解産物（血漿 FDP）

●D ダイマー

●ループスアンチコアグラント（LA）

●活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）

●抗酸菌薬剤感受性検査

●サイトメガロウイルス pp65抗原定性（C10、C11）
CMV（C10、C11）

変　更　期　日

※詳細につきましては、裏面以降の内容をご参照ください。

保健科学グループ

保健科学研究所　〒240-0005　神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106　TEL. 045-333-1661
保健科学東日本　〒365-8585　埼玉県鴻巣市天神3-673　TEL. 048-543-4000
保健科学西日本　〒612-8486　京都府京都市伏見区羽束師古川町328　TEL. 075-933-6060

変更項目および変更内容

▼2024 年 3 月 30 日（土）受託分より変更

項目コード	検査項目（グループコード）	変更内容	新	現	変更理由	総合検査案内掲載頁	備考
1099	シアリル Tn 抗原（STN）（4447）	所要日数	4～7 日	4～6 日	委託先の定期的な見直しのため	42	
983	ジアゼパム（5670）		5～8 日	5～7 日		102	
2728	ピルメノール（5767）		5～11 日	5～8 日		104	*4

委託先：エスアールエル（略号：*4）

▼2024 年 4 月 1 日（月）受託分より変更

項目コード	検査項目（グループコード）	変更内容	新	現	変更理由	総合検査案内掲載頁	備考
2071～2079	薬剤によるリンパ球刺激試験（DLST）（7027）	薬剤リスト	薬剤リストを更新	－	委託先の定期的な見直しのため	127	
2011	G-band 法（7291）	報告内容	分析詳細として「染色体数」・「カウントした細胞数」・「分析した細胞数」・「カリオタイプを作成した細胞数」を追加	－		119	*4
424	フィブリン・フィブリノゲン分解産物（血漿 FDP）（2034）	基準値・単位	5.0 以下 μg/mL	5.0 未満 μg/mL	試薬変更のため	98	
		報告範囲	2.5 以下～900.0 以上	2.5 未満～320.0 以上			
1136	D ダイマー（2049）	基準値・単位	1.0 以下 μg/mL	1.0 未満 μg/mL			
		報告範囲	0.5 以下～800.0 以上	0.5 未満～200.0 以上			
421	活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）（2030）	基準値・単位	24.0～34.0 秒	26.5～37.2 秒		96	
		報告範囲	21.0 以下～200.0 以上	15.0 未満～250.0 以上			

委託先：エスアールエル（略号：*4）

▼2024 年 4 月 1 日（月）受託分より変更

項目コード	検査項目（グループコード）	変更内容	新	現	変更理由	総合検査案内掲載頁	備考
2721	ループスアンチコアグラント（LA）（2091）	基準値	1.2 未満（−） 1.2 以上 1.3 未満（+ −） 1.3 以上（+）	1.1 未満（−） 1.1 以上 1.3 未満（+ −） 1.3 以上（+）	試薬変更のため	65	
		報告範囲	0.50 以下 ～ 9.60 以上	0.06 以下 ～ 16.00 以上			
−	抗酸菌薬剤感受性検査（8054）	報告薬剤数（備考）	指定に関わらず全 10 薬剤での報告※1	以下の薬剤より指定（薬剤指定がない場合は、10 剤について検査） ①SM②INH ③RFP④EB ⑤KM⑥EVM ⑦TH⑧CS ⑨PAS⑩LVFX	定期的な見直しのため	136	*G
2559	サイトメガロウイルス pp65抗原定性（C10、C11）CMV（C10、C11）（7714）	検査場所	エスアールエル（略号：*4）	保健科学研究所（略号：*G）		90	

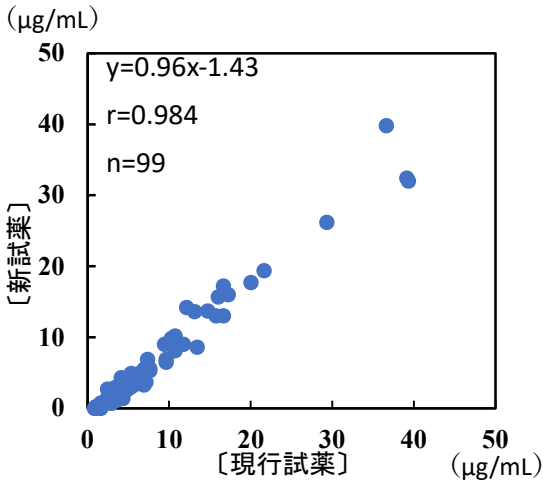
委託先：保健科学研究所（略号：*G）

※1 SM、INH、RFP、EB、KM、EVM、TH、CS、PAS、LVFX についての検査を行います。

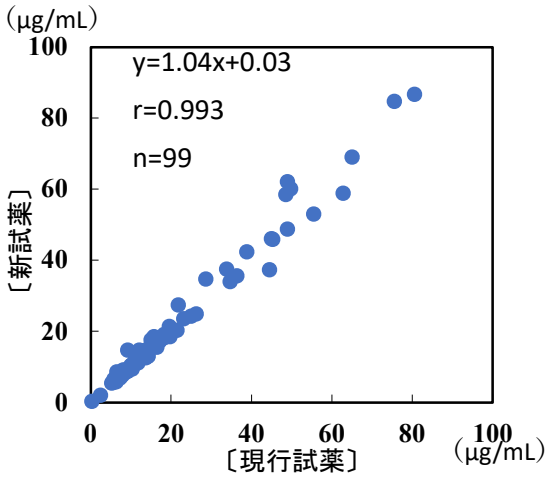
報告薬剤数変更に伴う実施料の変更はございません。

▼新試薬と旧試薬の比較

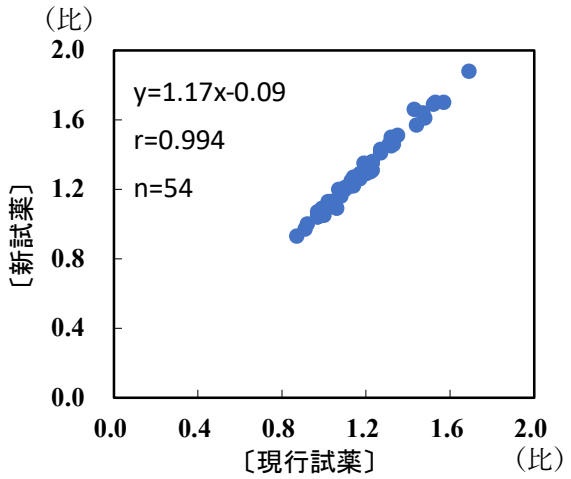
〔フィブリン・フィブリノゲン分解産物（血漿 FDP）〕



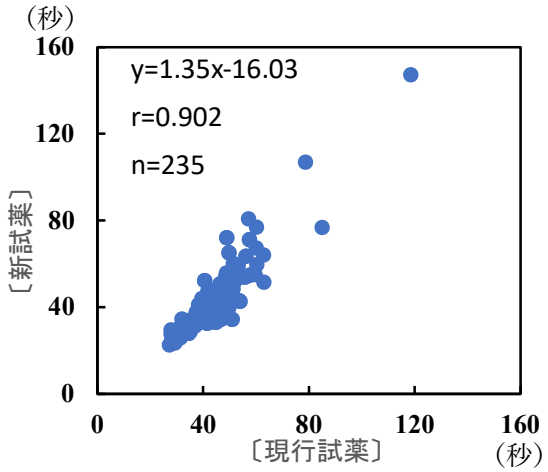
〔D ダイマー〕



〔ループスアンチコアグラント（LA）〕



〔活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）〕



▼検査方法参考文献

・池田千秋，他 ： フィブリノゲン分解産物への反応性を改善した新規血漿 FDP 試薬「リアスオート P-FDP」の評価，Sysmex Journal Web，15(2)，1-8，2014.

・上村三奈，他 ： リアスオート・ D ダイマー ネオ試薬におけるワイドレンジ化の検討，Sysmex Journal Web，15(2)，1-7，2014.

・下村大樹，他 ： 新規開発の LA 試薬 DRVVT の基礎的性能評価，Sysmex Journal Web 23(3)，51-61，2022.

・山崎あずさ，他 ： 全自動血液凝固測定装置 CS-5100 を用いた活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）測定試薬「レボヘム APTT SLA」の基礎的性能評価およびループスアンチコアグラント感受性に着目した相関乖離検体の解析，医療検査と自動化，Vol. 46 No.3，208-214，2021.